

事業番号 2022 - 文科 - 新23 - 0023

令和4年度行政事業レビューシート ( 文部科学省 )

事業名	文化芸術のグローバル展開の推進			担当部局庁	文化庁	作成責任者					
事業開始年度	令和5年度	事業終了 (予定)年度	令和9年度	担当課室	文化経済・国際課	板倉 寛					
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	文化芸術基本法第2条10項、15項			関係する 計画、通知等	経済財政運営と改革の基本方針2022(骨太方針2022)(令和4年6月7日閣議決定)、新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画(令和4年6月7日閣議決定)、知的財産推進計画2022(令和4年6月3日閣議決定)、文化芸術推進基本計画(第1期)(平成30年3月6日閣議決定)						
主要政策・施策	観光立国、クールジャパン、知的財産			主要経費	その他の事項経費						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	世界の目線や潮流、国際市場の構造やニーズを踏まえた上での我が国の文化芸術の訴求力のある発信の実施や、国際的に訴求するコンテンツのグローバル展開に向けた基盤・国内拠点整備を進めるなど、国際発信強化とインバウンド誘致の両方の視点から、世界を視座とした戦略的な文化芸術の振興を推進する。										
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①将来的に国際舞台での活躍が期待される傑出した人材の発掘とグローバル展開を行う「トップアーティストのグローバル展開支援事業」 ②我が国の活字文化を海外へ発信・普及させるため、出版社等による作品の海外展開を支援するとともに、翻訳家の発掘・育成を行う「活字文化のグローバル発信・普及事業」 ③国内事業者の海外アートフェア等参加・出展を支援するとともに、国際的な誘客を可能にする国内企画展、国際連携による海外企画展等を支援する「我が国アートのグローバル展開推進事業」(補助率:原則50%)(民間企業等) ④国際的なアートフェアの誘致や、国際的なイベントにおけるアートの国際発信等を行う「世界から人を惹きつけるグローバル拠点形成の推進」(補助率:定額)(地方自治体等)										
実施方法	委託・請負、補助										
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算						1,452			
		補正予算									
		前年度から繰越し						0			
		翌年度へ繰越し									
		予備費等									
	計		0	0	0	0	1,452				
	執行額										
	執行率(%)		-	-	-						
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		-	-	-							
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由							
	文化芸術振興委託費		1,174	○要求額のうち「重要施策推進枠」273百万円							
	文化芸術振興費補助金		255	○文化審議会文化経済部会における文化芸術を持続的に発展させるための創造的循環を作り出す必要性の報告を受け、文化芸術を価値づけ、グローバルに展開していくために新規で要求するものである。							
	職員旅費		16								
	諸謝金		2								
	その他		5								
	計	0	1,452								
活動内容 (アクティビティ)	○新進芸術家海外研修制度研修生数										
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込		
	新進芸術家海外研修制度 研修生の派遣	研修生数	活動実績	人	62	69	35	-	-		
			当初見込み	人	59	71	35	26	27		
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込			
	新進芸術家海外研修制度支援総額 ／新進芸術家海外研修制度研修生数		単位当たり コスト	百万円	5.1	4.4	9.3	2			
			計算式	百万円/人	314/62	315/71	325/35	173/26			

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度
								2年度	15年度
新進芸術家海外研修制度 による研修した者で、国内 外で活躍している者の排出 目標値(直近過去3年間の 平均値を元に設定)。	新進芸術家海外研修制度 の研修終了者の中から、国 内外の著名なコンクールや 賞の受賞者の人数		成果実績	人	2	3	10	-	-
			目標値	人	1	1	1	15	
			達成度	%	200	300	1,000	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	各賞公表実績								
活動内容 (アクティビ ティ)	○活字文化のグローバル発信・普及 ・企画書等の翻訳・作成支援 ・翻訳家の発掘・育成 ・翻訳家のリスト作成・共有 ・プロモーション活動								
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度	5年度
								活動実績	活動見込
外国語の企画書・サンプル 訳の作成支援	支援件数		当初見込み	件					150
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	委託費／実施件数							単位当たり コスト	426千円
				計算式	64,000千円 /150件				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度
								8年度	10年度
日本の活字作品の海外出 版社による出版(ライセンス アウト)	支援件数に占める割合 (支援した作品で海外出版 された数／支援作品数)		成果実績						
			目標値	%				16	20
			達成度	%					
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)									

<b>活動内容 (アクティビティ)</b>	○我が国アートのグローバル展開 ・海外アートフェア等参加・出展等支援 ・国際的に発信力のある国内企画展等支援 ・国際拠点化事業の推進支援 ・国際連携による海外企画展等支援								
<b>活動目標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動目標	活動指標	/ 活動実績 当初見込み	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	上記活動の支援	補助件数		件					29
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠		/ 単位当たりコスト 計算式	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	補助金総額／補助件数			/					
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標	/ 成果実績 目標値 達成度	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 7年度	目標最終年度 9年度
	我が国アートの国際的な露出・評価の増加	国際的なアートフェアにおける日本のギャラリーの出展割合の増加(アートバーゼルに出展した日本からのギャラリー数/全出展者数)		%				10	15
				%					
<b>根拠として用いた統計・データ名(出典)</b>									
<b>活動内容 (アクティビティ)</b>	○世界から人を惹きつけるグローバル拠点形成の推進 ・国際的なアートフェアの誘致に向けた我が国アートシーンの発信 ・国際的なイベントにおけるアートの国際発信事業 ・日本文化のグローバル展開に資する「新たな価値」の発信								

活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	我が国における国際的なアートフェアの実施	国際的なアートフェア実施件数		活動実績 当初見込み					
単位当たりコスト	算出根拠		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	委託費/実施件数			単位当たりコスト 計算式	/				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 7年度	目標最終年度 9年度	
	我が国アーティストの国際的評価の向上	Artfactsのアーティストランキングにおいてトップ100にランクインする日本出身者の割合		成果実績					
		目標値		達成度			3	4	5
			%						
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	https://artfacts.net/lists/global_top_100_artists								
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	12 文化芸術の振興						
	政策評価	施策	12-1 文化芸術の創造・発展・継承と教育の充実	政策評価書 URL					
				該当箇所					
	新経済・財政再生計画改革工程表 2021 取組事項	分野:	(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:						
該当箇所									
事業所管部局による点検・改善									
国費投入の必要性	項目			評価	評価に関する説明				
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	グローバル化、デジタル化が進む中で、世界の目線や潮流、国際市場の構造やニーズを踏まえた上での我が国の文化芸術の訴求力のある発信を行っていくことが必要とされている。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	文化芸術のグローバル展開にあたって、人材育成や基盤・国内拠点整備も含めた総合的な推進事業を実施できるのは国内文化芸術振興基本計画(第1期)における「重点戦略4:国内外の文化的多様性や相互理解の促進」として「我が国の多彩な文化芸術を積極的に海外発信」が位置付けられており、優先度が高い事業である。				
事業の効率性	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	文化芸術振興基本計画(第1期)における「重点戦略4:国内外の文化的多様性や相互理解の促進」として「我が国の多彩な文化芸術を積極的に海外発信」が位置付けられており、優先度が高い事業である。				
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	支出先の選定に当たっては、一般競争又は企画競争を行うなど、競争性が確保されるよう努める。				
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			無					
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無					
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○	各事業において支出対象経費を定め、受益者との負担関係が妥当となるよう努める。				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	事業の実施上、最低限必要な経費のみ執行を認めることとしている。				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			○	事業の実施・運営に必要な経費のみに限り支出しており、合理的である。				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	事業の実施上、最低限必要な経費のみ執行を認めることとしている。				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-					
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-						
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			-						
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。				成果実績は、おおむね目標と同等の水準に達している。				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。				一般競争入札(最低価格落札方針)を実施し、効果的かつコストを抑えた事業実施ができている。				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。				活動実績は、おおむね見込みどおりのものとなっている。				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。				本事業は研修事業であり、整備された施設や成果物などはない。				

<b>関連事業</b>	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					-
	事業番号			事業名		
<b>点検・改善結果</b>	点検結果	本事業は、国際発信強化とインバウンド誘致の両方の視点から、世界を視座とした戦略的な文化芸術の振興を推進することを目的とする事業であり、事業を実施するに当たっては事業経費の効率的な執行に努めつつ、事業の効果が最大限得られるように取り組んでいく必要がある。				
	改善の方向性	事業の重要性や目的を踏まえ、適正な契約手続きを行うとともに、事業経費の効率的な執行を図り、且つ効果的な事業成果が得られるように努める。				
<b>外部有識者の所見</b>						
外部有識点検対象外						
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>						
		事業目的の達成に向け、効率的な予算執行を図り、費用対効果の向上等に努めること				
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>						
		-				
<b>備考</b>						

